

タイトル：令和2（2020）年度 教育セミナー（第16回）

日時：2020年9月17日（木）～20日（日）

オンライン

「ダマスクス旧市街の観光ルート計画の多元性」

広田瞳子（筑波大学大学院システム情報工学研究科社会工学専攻博士前期課程2年）

今回このセミナーには初めて参加させていただきました。参加されたことのある研究室の先輩からは、とてもためになる良い機会だと聞いていましたが、今回のような、学外で自分の発表をしっかりとさせていただく機会は初めてで、準備や当日も不安なことが多くありましたが、大変良い経験となりましたので、以下感想を述べさせていただきます。

今回は一人40分のお時間をいただき、修士論文の内容を発表させていただきました。修士論文では、シリアの首都ダマスクスにおける観光ルート計画を通してダマスクス旧市街の歴史を読み解くといった内容でした。日頃の研究活動では、近い分野（都市計画）を学ぶ学生や先生に対して発表することがほとんどで、専門分野以外の方々に向けて発表する準備は難しく、また自分の中でも研究の内容について、作業ばかりを進めている状況の中、発表の構想を考案することには苦戦しました。発表後は、様々な面から見たご意見をいただき、自身の研究についても新たな視点を得ることができました。また、自分自身で疑問を感じながら進めていたことに関して的確なアドバイスをいただき、これからの研究をどのように進めていくか、そして今まで考えが足りていなかった研究の根本的な部分を再度深く考え直す大変貴重な機会となりました。特に、観光ルート計画に対する提案については考えがまとまっていないところだったので、今一度構想を練り、いただいたご意見を今後の研究活動に活かしていきたいと思います。

また、今回他大学の方々の発表や、先生方の講義や議論は私にとって大変刺激になりました。自身の研究分野ではない同世代の方々が進めている研究について知ることができ、また先生方の講義も参考になる点が多く、4日間とても濃い時間を過ごさせていただきました。中東、イスラームの世界は、一言で表すことのできない多様な面を持つということ、そしてその様々な面から学ぶことの興味深さを強く感じることができました。

最後になりますが、今回のセミナーをオンラインでの開催という異例の事態の中、様々な工夫を凝らし、準備、企画運営してくださったAA研の先生方、スタッフの皆様に感謝申し上げます。大変お世話になりました。ありがとうございました。